



首都圏
自然歩道

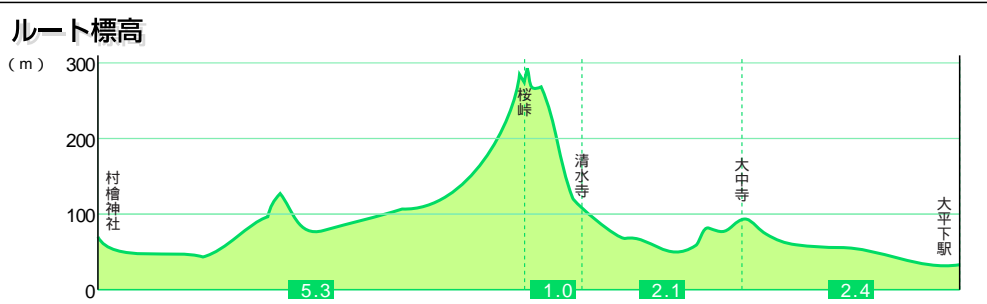
関東ふれあいの道

栃木県

10 かがしの里・ブドウのみち 10.8km

村檜神社を出発してまもなく東北自動車道をくぐり、ゴルフ場のある小高い山を越え、里道を行くと杉林の中の登り道になります。まもなく、ヤマザクラの大木がある桜峠に着きます。ここは、「稜線をたどるみち」との交差点で、右に行くと岩舟駅、左に行くと太平山神社です。

桜の点在する山道を下って清水寺でひと休みしたあと、雑木林と農家の裏山をぬって進むと大中寺の山門前に出ます。さらにぶどう畑の中を進むと、終点の大平下駅に到着します。



踏破認定撮影ポイント



桜峠 四阿

清水寺の背後の山全体にヤマザクラが広く点在し、桜峠万本桜といわれています。花と同時に若葉も伸び出すヤマザクラは派手さはありませんが一斉に咲くさまは見事です。

問い合わせ

栃木県環境森林部自然環境課 自然公園担当
 栃木県県南環境森林事務所 環境企画課
 岩舟町役場 経済課
 大平町役場 産業振興課

〒320-8501 宇都宮市堀田 1-1-20 TEL.028-623-3206
 〒327-8503 佐野市堀米町 607 TEL.0283-23-1441
 〒329-4392 下都賀郡岩舟町大字静 5132-2 TEL.0282-55-7764
 〒329-4492 下都賀郡大平町大字富田 558 TEL.0282-43-9212

コース周辺の見所



村檜（むらび）神社

本殿は三間社春日造、屋根は檜皮葺で天文 22年（1553）に建てられたものです。
室町時代後期の傑作として、国の重要文化財に指定されています。



大慈寺（だいじじ）

慈覚大師が9才から15才まで修行をしたところです。慈覚大師自刻木像を祀る大師堂、小野小町ゆかりの日本七葉師などがあります。



清水寺（せいすいじ）

一名「滝の観音」ともいわれ、下野板東 26番の札所寺です。本尊は、僧行基の作といわれる十一面千手観音で県の重要文化財に指定されています。



戸長屋敷（こちょうやしき）

茅葺き屋根の民家の姿を今に伝える郷土資料館です。屋敷内には母屋、長屋門をはじめ、民族文化財、町指定文化財などが展示されています。



大中寺

延徳元年（1489）に開創された歴史ある寺で、この寺の縁起は「雨月物語」の青頭巾などとして名高く、境内にある七不思議伝説も有名です。



ぶどう団地

グレーブロードを中心に、広大なブドウ畑が広がります。巨峰を中心に8月上旬から10月中旬までぶどうの香りがいっぱいです。